（別紙３）

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	サンスマイルキッズ佐鳴台教室			
○保護者評価実施期間	2025年12月1日	～	2026年1月10日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	23	（回答者数）	17
○従業者評価実施期間	2025年12月1日	～	2025年12月27日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	7	（回答者数）	7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月5日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	□ 児童の特性を考えながら児童に寄り添った支援を行っている。	慣れ親しんだ子どもたちが好きな遊びは定期的に取り入れつつ、他教室の活動計画を参考にして新しい遊びも取り入れている。	子ども達の活動に合わせた空間をう少し意識して、職員にも活動プログラムを考えてもらってもよいと感じた。
2	運動療育と乗馬療育を根幹とした療育を提供している。	運動療育だけでなく、集団遊びや、工作等の活動も行っている。	活動を１週間毎に区切るのではなく、曜日で固定化をして、１週間で見た時に毎日違った活動を提供していきたい。
3	職員の年齢層や、性別に偏りがない	その時児童に一番相性が良い職員が対応することが出来る。	限りなく、どの職員でも同じ対応が出来るように努める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子ども達が充分に遊べるスペースが狭いと感じる	子どもたちの年齢が上がってきて、運動をするスペースが多少狭く感じる。	運動するスペースを使用する順番を決める。
2	事業所のクールダウンする場所がない	部屋数の少なさ	トイレ前と、下駄箱の、廊下が唯一落ち着いて話を聞いたり、話したりできるスペースになっている。
3	おもちゃの嗜好に偏りがある	利用児童の年代と性別に偏りがあるため、おもちゃの需要に答えようとすると、偏りが生じた。	性別、年齢に左右されないおもちゃを購入する